

千 建 セ 第 9 6 号
令和 8 年 9 月 1 日

関 係 機 関 の 長 様

(公財) 千葉県建設技術センター
理 事 長 角 田 秀 樹
(公 印 省 略)

令和 8 年度 ドローン操作研修（屋内実習）の開催について

日頃より、当センター業務運営につきまして、格別の御理解、御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、近年、ドローン技術は公共土木分野において、災害現場や測量・点検・施工管理の効率化などに貢献しているインフラDX技術であり、本研修では、ドローン操作経験の無い職員を対象に、ドローンを安全に飛行させ、また業務に有効活用するための技能の習得を目的とした屋内操作実習を下記のとおり開催いたします。

つきましては、受講を希望される職員は、下記により参加申し込みをお願いいたします。

記

- 1 研 修 名 ドローン操作研修（屋内実習）
- 2 研修内容 ドローンを初めて操縦する方を対象とした、ドローンインストラクターの指導の下での模擬コース上における基本操作実習及びドローンの基礎知識、飛行に関するルール（航空法等）についての講義。
※操作実習は別紙「操作研修内容」を参照。
講義はYouTube 配信を予定。
- 3 日 時 【1 次】 令和 8 年 10 月 9 日（金）
 【2 次】 令和 8 年 10 月 16 日（金）
 【3 次】 令和 8 年 10 月 23 日（金）
 ※1 次、2 次、3 次とも研修内容は同じです。
時間割 1 組目 9 時 00 分～ 9 時 50 分（受講者 2 名）
 2 組目 10 時 00 分～10 時 50 分（受講者 2 名）
 3 組目 11 時 00 分～11 時 50 分（受講者 2 名）
 4 組目 13 時 10 分～14 時 00 分（受講者 2 名）
 5 組目 14 時 10 分～15 時 00 分（受講者 2 名）
 6 組目 15 時 10 分～16 時 00 分（受講者 2 名）
 ※各組の実習時間は 50 分間です。また、実習内容は同じです。
- 4 場 所 ホテルプラザ菜の花 3 階 スポーツホール
 <https://www.hotelplaza-nanohana.com/>
 ※受講者用の駐車場の用意はございません。

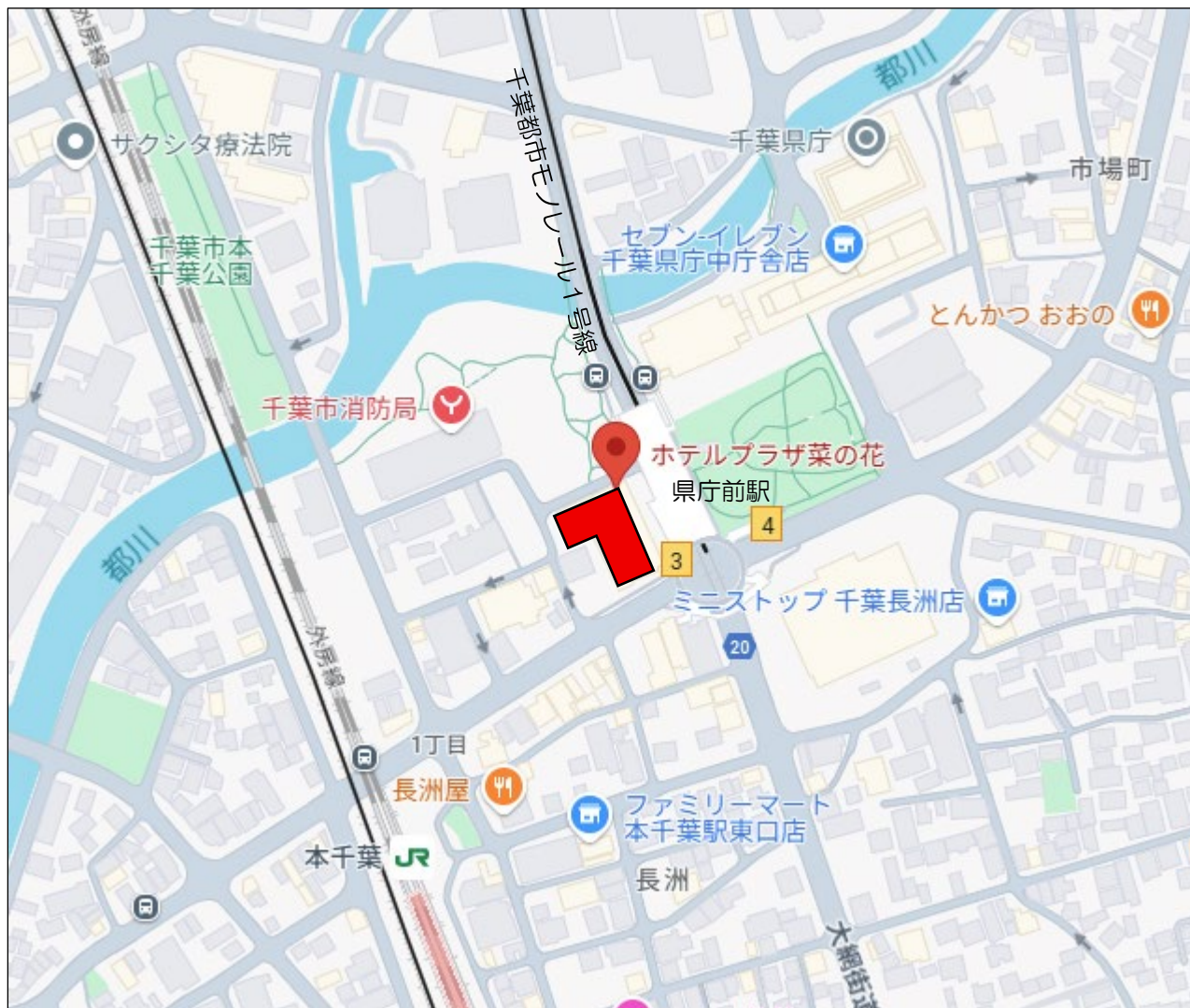
- 5 対 象 者 ドローン操作経験の無い市町村・水道企業団等職員
- 6 受講定員 12名／次（合計36名）
※受講希望者が定員を上回った場合は、抽選により受講者を決定させていただきます。
- 7 参 加 費 無 料
- 8 募集期間 【1次】令和8年9月1日（火）～令和8年9月30日（水）
【2次】令和8年9月1日（火）～令和8年10月7日（水）
【3次】令和8年9月1日（火）～令和8年10月14日（水）
※各回への重複申込みはできません。
- 9 決定通知 【1次】令和8年10月2日（金）
【2次】令和8年10月9日（金）
【3次】令和8年10月16日（金）
- 10 持 参 品 中履き（スリッパ等）
- 11 申込方法 本研修のお申し込みは、当センターHPからの電子申請となっております。
お申し込みにあたっては、令和8年8月3日（月）に通知した各所属専用のID・パスワード（研修講習会担当者様所有）を使用し、当センターホームページ <https://www.cctc.or.jp> からお申し込みください。
お申し込み時に希望時間帯（午前・午後・希望無し）をお選びください。
受講時間は受講確定後こちらで指定させていただきます。
- 12 そ の 他 ドローンの基礎知識や飛行に関するルール（航空法等）についての講義は、YouTube による動画配信を予定しております。視聴用 URL 等のご案内は、受講者宛に通知します。
- 13 問合せ先 （公財）千葉県建設技術センター 企画指導課 林、鈴木
電話 043-247-0207 Email koushu@cctc.or.jp

注意事項

- 受付を完了しますと自動的にお申し込みいただいたメールアドレスへメールが送信されます。お申し込み後にメールが届かない場合はご連絡ください。（申込確認はHPから可能です。）
- 受講確定後のキャンセルは2日前までにご連絡ください。
当選された方はなるべくキャンセルせずに各所属内で調整してください。
- メールアドレスの入力ミスでメールが届かない場合が多くなっております。
入力の際は間違いの無いよう確認してお申込みください。

研修会場案内図

ホテルプラザ菜の花案内図



ホテルプラザ菜の花 3階 スポーツホール
〒260-0854 千葉県千葉市中央区長洲 1-8-1
TEL:043-222-8271

【アクセス】

- ・バス 千葉駅 ⇒ 小湊バス（千葉県庁経由）千葉県庁前下車 徒歩1分
- ・電車（JR） JR本千葉駅 ⇒ 徒歩3分
- ・モノレール 県庁前駅 ⇒ 徒歩1分

※受講者用の駐車場の用意はございません。

●操作研修内容

本操作研修は、限定空域(屋内)で行います。
研修内容は本書のとおり、離陸・着陸のほか、ホバリングや上下左右の移動等、基礎操作の習得を目的としたドローン操作研修です。

離陸&着陸訓練

操縦者から 3m 程度離れた位置でドローンを離陸させ、3m 上昇させた後にカメラは正面に向けたままその場に着陸をさせる。

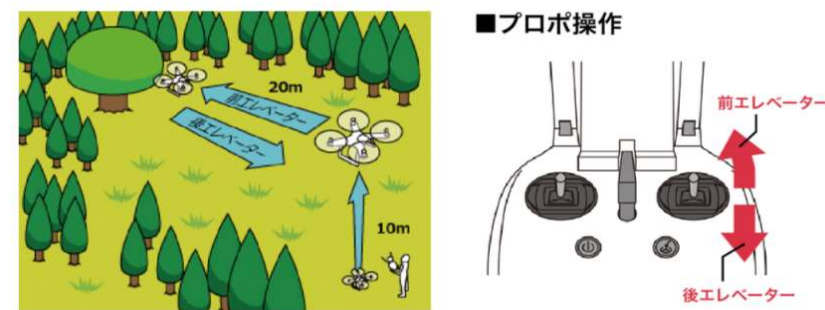


ホバリング

操縦者から 3m 程度離れた位置でドローンを離陸させ、目線の高さで一定時間、一定の範囲内(半径 1m 以内)にホバリングを継続する。

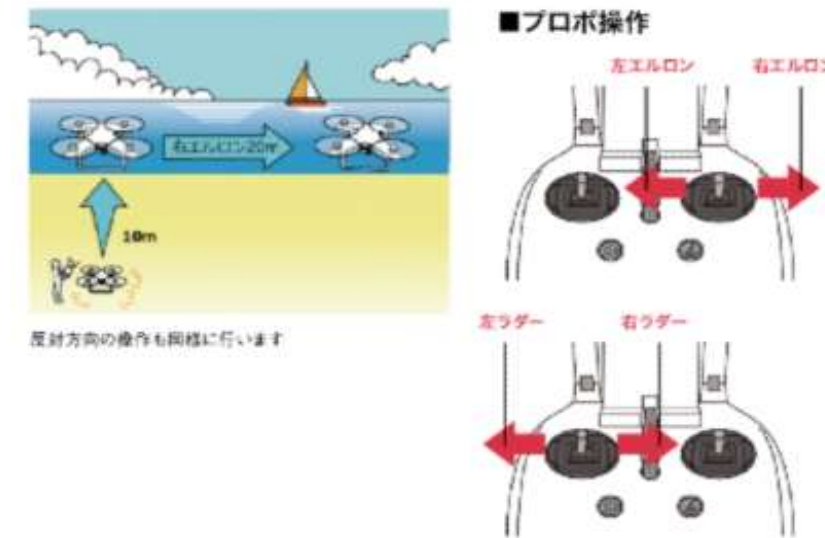
エレベーター

指定された離陸地点から、高さ 10m 程度を保持しつつ、前方へ 20m 離れた着陸地点に移動し、着陸。
同様に、着陸地点から後方へ 20m 移動しもとの離陸地点に戻る。



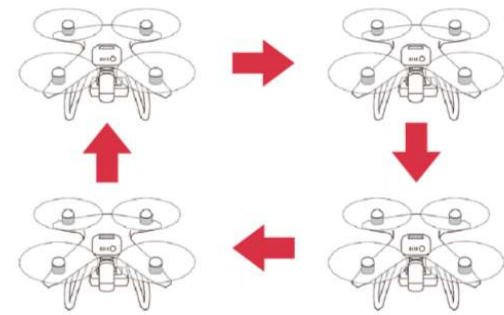
エルロン、ラダー

指定された離陸地点から、高さ 10m 程度を保持しつつ、左方向へ 20m 離れた着陸地点に移動し、着陸。
同様に、着陸地点から右方向へ 20m 移動し、もとの離陸地点に戻る。



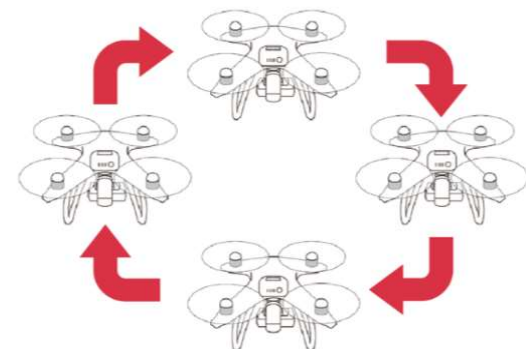
スクエア

機体の向きを変えずに目線の高さを維持したまま、水平面を四角形に移動。カメラの向きは常に一定方向に向けて、時計回り 1 回転、反時計回り 1 回転し、離陸地点に戻る。



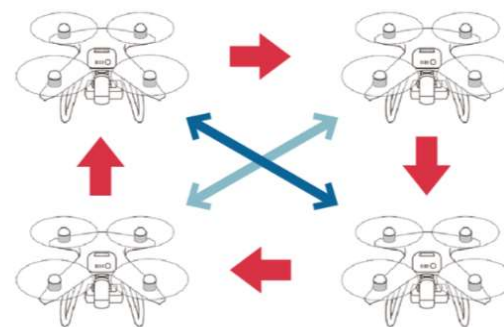
サークル

機体の向きを変えずに、高さ 2m 程度を維持したまま、水平面を円形に 5 回転。



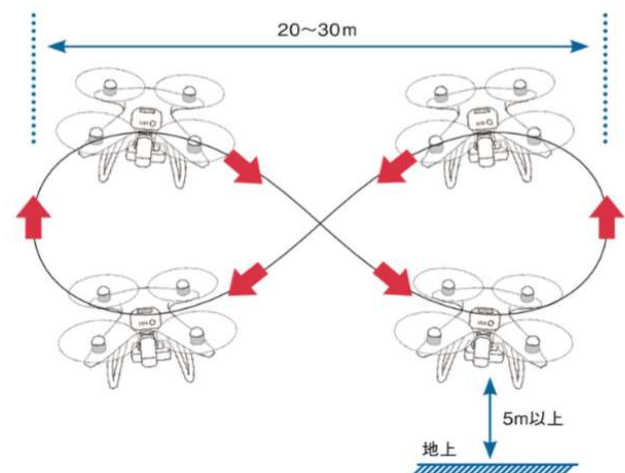
斜め移動

機体の向きを変えずに、高さ 2m 程度を維持したまま、正方形の対角線を「x」クロスを描くように水平面を移動。



8の字飛行

ドローンの進行方向に常にカメラを向けて、高さ約 5m を維持したまま、水平面にして 8 の字形に移動。8 の字の幅は、周辺の障害物の状況を確認しながら、約 20 ~ 30m 程度で大きく移動させる。



写真撮影

ドローンに搭載されているカメラの操作・撮影等